



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンケル
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)成松 義文
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)島田 和幸 TEL 045-226-1200
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	62,603	△8.5	2,397	△30.8	2,768	△17.9	1,674	△10.7
24年3月期第3四半期	68,396	△4.9	3,462	△37.6	3,371	△38.1	1,875	△32.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,684百万円(△8.6%) 24年3月期第3四半期 1,842百万円(△35.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	25	.80	25	.68
24年3月期第3四半期	28	.90	28	.80

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	90,163		78,394			86.4
24年3月期	91,739		78,796			85.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 77,931百万円 24年3月期 78,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭		
24年3月期	—		17	.00	—	17	.00	
25年3月期	—		17	.00	—	—	—	
25年3月期(予想)	—		—	—	17	.00	34	.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	83,500	△5.3	4,200	4.6	4,200	4.9	2,100	△14.4	32	.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	65,176,600株	24年3月期	65,176,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	291,553株	24年3月期	291,185株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期3Q	64,885,194株	24年3月期3Q	64,901,768株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 5 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(6) セグメント情報等	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要を背景に公共投資が堅調に推移し、住宅投資や個人消費も底堅さを維持しているものの、欧州や中国など海外経済の減速により輸出や生産が減少しており、全体としては弱い動きとなっております。後半に円安・株高が進行して、景気回復への先行き期待は高まりつつありますが、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、楽観できない状況が続いております。

当社は平成24年2月1日付で株式会社いいもの王国の雑貨販売事業を当企業集団外に譲渡いたしました。業績の状況においては、より実態に即した分析を行うため、前第3四半期連結累計期間は株式会社いいもの王国を連結していなかった前提に組み替えて(以下、「組替後」といいます。)比較しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、化粧品関連事業のうち平成24年3月にブランドの再構築(以下、「リブランディング」といいます。)を行ったファンケル化粧品やOEM事業が増収となったものの、アテニア化粧品、栄養補助食品関連事業およびその他が前年同期を下回ったことにより、全体では62,603百万円(前年同期比0.8%減)となりました。営業利益は減収となったことに加え、リブランディングに伴いマーケティング費用が増加したことにより2,397百万円(前年同期比31.0%減)となりました。経常利益は非連結子会社の再編に伴う受取配当金を計上したことなどにより2,768百万円(前年同期比18.2%減)となりました。この結果、四半期純利益は1,674百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は34,980百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

	平成24年3月期 前第3四半期連結累計期間 (組替後)		平成25年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	27,772	79.4	27,885	79.7	0.4
アテニア化粧品	6,212	17.8	5,904	16.9	△5.0
その他	986	2.8	1,189	3.4	20.6
合計	34,971	100.0	34,980	100.0	0.0

	平成24年3月期 前第3四半期連結累計期間 (組替後)		平成25年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	17,831	51.0	17,567	50.2	△1.5
店舗販売	11,393	32.6	11,650	33.3	2.3
卸販売他	1,730	4.9	1,710	4.9	△1.2
海外	4,016	11.5	4,052	11.6	0.9
合計	34,971	100.0	34,980	100.0	0.0

ファンケル化粧品は、平成24年3月に発売した「新無添加スキンケア」の増収効果により、27,885百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

アテニア化粧品は、一部のキャンペーンが振るわず、5,904百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は17,567百万円(前年同期比1.5%減)、店舗販売は11,650百万円(前年同期比2.3%増)、卸販売他は1,710百万円(前年同期比1.2%減)、海外は4,052百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

営業損益

損益面では、ファンケル化粧品のリブランディングに伴い、TVCMや大規模なサンプル製品配布キャンペーンを実施したことなどによりマーケティング費用が増加した結果、営業利益は2,589百万円(前年同期比35.2%減)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は20,327百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

	平成24年3月期 前第3四半期連結累計期間 (組替後)		平成25年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	8,814	42.5	8,133	40.0	△7.7
店舗販売	4,985	24.0	4,546	22.4	△8.8
卸販売他	5,423	26.2	5,546	27.3	2.3
海外	1,507	7.3	2,100	10.3	39.3
合計	20,730	100.0	20,327	100.0	△1.9

製品面では、平成24年6月にリニューアルしたダイエットサプリメント「カロリミット」が伸長したものの、その他の製品が振るわず減収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は8,133百万円(前年同期比7.7%減)、店舗販売は4,546百万円(前年同期比8.8%減)、卸販売他は5,546百万円(前年同期比2.3%増)、海外は2,100百万円(前年同期比39.3%増)となりました。

営業損益

損益面では、減収となったものの、前年同期に対しマーケティング費用が減少したことにより、営業利益は1,370百万円(前年同期比29.9%増)となりました。

③ その他

売上高

その他の売上高は7,296百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

	平成24年3月期 前第3四半期連結累計期間 (組替後)	平成25年3月期 当第3四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米事業	2,207	2,239	1.5
青汁事業	2,623	2,496	△4.8
その他の事業	2,564	2,559	△0.2
合計	7,395	7,296	△1.3

発芽米事業は、卸販売他が好調に推移し、2,239百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

青汁事業は、主力の「ケールまるごと搾り」が堅調だったものの、その他の製品が振るわず、2,496百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

その他の事業は、雑貨および肌着事業が増収となったものの、エステ事業が減収となったことにより、2,559百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

営業損益

損益面では、肌着事業の黒字化などにより、営業損失は前年同期に比べて60百万円縮小し、197百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べて1,576百万円減少し、90,163百万円となりました。この要因は、流動資産の減少2,245百万円および固定資産の増加669百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少2,987百万円と受取手形及び売掛金の増加316百万円および有価証券の増加514百万円であります。固定資産の増加の主な要因は、投資有価証券の増加953百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,173百万円減少し、11,768百万円となりました。この要因は、流動負債の減少1,189百万円および固定負債の増加15百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少234百万円、未払法人税等の減少465百万円および賞与引当金の減少409百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、退職給付引当金の増加40百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて402百万円減少し、78,394百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少2,206百万円と四半期純利益1,674百万円による増加であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べて0.9ポイント上昇し、86.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は23,066百万円となり、前連結会計年度末より1,989百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,794百万円(前年同期は4,200百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益2,518百万円および減価償却費2,558百万円などによる増加と、賞与引当金の減少409百万円、その他の流動負債の減少585百万円および法人税等の支払額1,088百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,595百万円(前年同期は5,501百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有価証券の売却及び償還による収入4,000百万円などによる増加と、投資有価証券の取得による支出4,000百万円、有形固定資産の取得による支出1,698百万円および無形固定資産の取得による支出1,336百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,215百万円(前年同期は2,289百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額2,179百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における通期の業績予想につきましては、平成24年11月2日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ48百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,149	15,161
受取手形及び売掛金	9,289	9,605
有価証券	13,382	13,897
商品及び製品	2,851	2,938
仕掛品	62	39
原材料及び貯蔵品	3,363	3,258
その他	2,214	2,110
貸倒引当金	△147	△91
流動資産合計	49,165	46,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,549	22,757
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,968	△13,460
建物及び構築物(純額)	9,580	9,297
機械装置及び運搬具	6,297	6,489
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,926	△5,231
機械装置及び運搬具(純額)	1,370	1,257
工具、器具及び備品	6,947	7,418
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,740	△6,174
工具、器具及び備品(純額)	1,206	1,244
土地	10,059	10,215
リース資産	299	279
減価償却累計額及び減損損失累計額	△224	△204
リース資産(純額)	75	74
その他	75	56
有形固定資産合計	22,368	22,146
無形固定資産		
のれん	284	—
その他	3,898	4,134
無形固定資産合計	4,182	4,134
投資その他の資産		
投資有価証券	11,861	12,815
その他	4,160	4,146
投資その他の資産合計	16,022	16,962
固定資産合計	42,573	43,243
資産合計	91,739	90,163

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,952	1,717
未払法人税等	681	216
賞与引当金	945	535
ポイント引当金	1,380	1,454
資産除去債務	1	6
その他	5,529	5,372
流動負債合計	10,490	9,301
固定負債		
退職給付引当金	1,603	1,644
役員退職慰労引当金	117	133
資産除去債務	478	477
その他	251	211
固定負債合計	2,451	2,467
負債合計	12,942	11,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	56,317	55,785
自己株式	△360	△360
株主資本合計	78,458	77,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	5
その他の包括利益累計額合計	△4	5
新株予約権	343	462
純資産合計	78,796	78,394
負債純資産合計	91,739	90,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	68,396	62,603
売上原価	22,616	20,358
売上総利益	45,780	42,245
販売費及び一般管理費	42,317	39,847
営業利益	3,462	2,397
営業外収益		
受取利息	57	84
受取配当金	16	150
為替差益	—	27
保険返戻金	15	4
雑収入	75	169
営業外収益合計	164	438
営業外費用		
為替差損	59	—
貸倒引当金繰入額	148	38
雑損失	47	29
営業外費用合計	255	67
経常利益	3,371	2,768
特別利益		
固定資産売却益	4	—
貸倒引当金戻入額	125	—
受取保険金	67	—
新株予約権戻入益	139	—
現物配当に伴う交換利益	—	107
特別利益合計	335	107
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	13	14
減損損失	45	268
店舗閉鎖損失	100	59
災害による損失	61	—
抱合せ株式会社消滅差損	143	—
その他	55	15
特別損失合計	422	357
税金等調整前四半期純利益	3,284	2,518
法人税、住民税及び事業税	996	609
法人税等調整額	412	234
法人税等合計	1,409	843
少数株主損益調整前四半期純利益	1,875	1,674
四半期純利益	1,875	1,674

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,875	1,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	10
その他の包括利益合計	△33	10
四半期包括利益	1,842	1,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,842	1,684
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,284	2,518
減価償却費	2,499	2,558
減損損失	45	268
株式報酬費用	89	119
のれん償却額	85	56
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△474	△409
ポイント引当金の増減額(△は減少)	74	74
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△448	40
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	16
受取利息及び受取配当金	△70	△235
為替差損益(△は益)	69	△33
投資有価証券売却損益(△は益)	7	—
投資有価証券評価損益(△は益)	7	—
固定資産売却損益(△は益)	△1	—
固定資産除却損	13	14
店舗閉鎖損失	100	59
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	143	—
新株予約権戻入益	△139	—
現物配当に伴う交換利益	—	△107
売上債権の増減額(△は増加)	363	△316
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61	42
その他の流動資産の増減額(△は増加)	325	△155
その他の固定資産の増減額(△は増加)	55	8
仕入債務の増減額(△は減少)	△190	△234
その他の流動負債の増減額(△は減少)	422	△585
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△5	△26
その他	△46	△25
小計	6,187	3,659
利息及び配当金の受取額	62	223
法人税等の支払額	△2,050	△1,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,200	2,794

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500
有価証券の取得による支出	△4,000	—
有価証券の売却及び償還による収入	1,502	4,000
有形固定資産の取得による支出	△1,848	△1,698
有形固定資産の売却による収入	30	1
無形固定資産の取得による支出	△1,359	△1,336
投資有価証券の取得による支出	—	△4,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	200
関係会社株式の取得による支出	—	△203
貸付けによる支出	△90	△76
貸付金の回収による収入	4	47
その他の支出	△69	△74
その他の収入	327	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,501	△2,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△53	△0
配当金の支払額	△2,182	△2,179
その他	△53	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,289	△2,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,649	△1,989
現金及び現金同等物の期首残高	28,070	25,056
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	34	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,455	23,066

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,088	20,738	55,827	12,569	68,396	—	68,396
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,088	20,738	55,827	12,569	68,396	—	68,396
セグメント利益又は損失(△)	4,032	1,056	5,089	△304	4,785	△1,322	3,462

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,322百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,980	20,327	55,307	7,296	62,603	—	62,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	34,980	20,327	55,307	7,296	62,603	—	62,603
セグメント利益又は損失(△)	2,589	1,370	3,960	△197	3,762	△1,364	2,397

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,364百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。